

うぐいすぐみだより

2022.12. 担任 飯田知矢



二学期を振り返って...

運動会から始まった二学期走り縄跳びや逆上がり、パラバルーン2枚技など初めての経験も多く「難しい」と言う声もありましたが、僕は出来る/私は出来る! 絶対出来る!とクラスで声を出し合い、互いに自信をつけあっていました。雨で延期にもなりましたが、その少しの期間でも成長していく子ども達に驚かされました。

ハロウィンパーティでは可愛い装飾にお菓子BOX、ハロウィンダンス、当日には可愛い子ども達の衣装と楽しそうな笑顔がいっぱいだった事を今でも思い出します。そしてアリエ造形展では、皆で協力して製作を行いました。特に年長ならではの木工活動では、苦戦しながらも少しずつコツを掴み子ども達の大好きな活動となりました。また細かな製作も一生懸命に行い、組み上がっていく合作板に早く見てもらいたいとワクワクしていた子ども達でした。

当日には、「リメ-ド-ミーの世界のまま!」と保護者の方々にも絶賛いただき子ども達と大喜びしたことは、忘れられない思い出です。

沢山の行事を重ね、更に絆と力を得た子ども達と三学期には集大成として、発表会に向け取り組んでいます。楽しみにお待ち頂ければと思います。



鉄棒大好き!

運動会を終えてからも鉄棒が大好きな子ども達! 外ではもちろんお部屋の中でも毎日鉄棒を出している程です。クラスに空中逆上がりを連続で出来る友達がいる事で憧れと自信が子ども達に生まれ、自分で認め合いながら取り組んでいます。今では紐なしでも逆上がり出来る子どもが30人中24人! 空中逆上がりは、17人が出来る様になりました。子ども達の努力に感動し、その急成長には驚かされます。1人で出来るように頑張っている子ども達も、いつかは出来る。出来れば今よりもっと楽しいね!と自分のペースで取り組んでいるのでクラス全体で応援しながら進めていきます。



うぐいすぐみデータ

うぐいす組の生活データをとりました。冬休み中の御家庭での関わりや3学期の課題の参考に頂ければと思います。

友達に思いやりを持って接することができる

20/30人中

友達との信頼関係が深くなる分、友達に対して呼び捨てをしたり、思いを伝える時や教える時に言葉が強くなる事があります。自分の気持ちを伝えることは大切ですが、強い言葉を使うと自分も相手も悲しい気持ちになる事。大好きな友達であるからこそ、優しく言葉を掛けてあげることが、いいですね。クラスで話をしました。友達に優しくする事が出来る日本一!!を目指し3学期も様子を見守っていきます。

22/30人中

人前で元気良く発表をすることができる

何でも発表会や当番活動を通して、人前に出て発表する経験をしている子ども達。ですがドキドキする気持ちから声小さくなってしまったり、少し自信が無くなってしまったり。3月の発表会に向けてドキドキする気持ちがあっても大丈夫。間違はないので自信を持って表現の良いことを伝えていきます。

1つ1つのことを丁寧に丁寧に行事が出来る

13/30人中

ロッカーや靴箱の整理、製作活動後の片付けなど、声を掛けると出来るのですが、次の行動に意識が向いてしまうと、乱雑になってしまう事があります。小学校に向けて生活習慣を再度見直し、自分で意識を持つ事が出来る様に促していきます。